

授業料全額免除

社会の要請に応じて

特別支援教育普及のため

授業料を全額免除します！*



2025年度 5期生第2次募集について

出願期間	2025年2月27日 (木) ~ 3月14日 (金) 17時書類必着 ※郵送のみ
試験日	2025年3月22日 (土) <面接> (申請により、オンラインによる面接も可能です)
合格発表	2025年3月24日 (月) 15時以降
入学手続	2025年3月25日 (火) ~ 3月31日 (月) 17時書類必着 ※郵送のみ

平日の夜間開講！オンライン受講も可能です

授業時間	月	火	水	木	金
18:30~20:00	×	●	●	●	×
20:10~21:40	×	●	●	●	×

この他、土日や夏休み期間中に集中講義を10日間程度実施する予定です。

1年間の学びを支える教育体制

特別支援学校教諭一種免許状取得のためには、特別支援学校での教育実習が必要です。

なお、特別支援学校勤務者の場合は自校実習が可能です。

修了要件： 1年以上在学し、所定の教育課程を履修し、30単位以上修得すること

必修科目 16科目

選択科目 7科目

(うち3単位以上選択必修)

※長期履修制度(2年間)があります。

■専攻：特別支援教育専攻

■選抜方法：対面による面接

■募集人員：10名程度

■入学検定料：16,500円

■入学時諸費用：入学金58,400円
保険料**1,140円

■授業料：~~年額273,900円~~

↓
全額免除！

*授業料免除については、入学後に申請手続きをし、修了の条件を満たす必要があります。詳しくはお問い合わせください。

**保険料の内訳は、学生教育研究災害障害保険料(800円)及び学研災付帯賠償責任保険料(340円)

特別支援教育特別専攻科の詳細は公式ホームページをご覧ください。

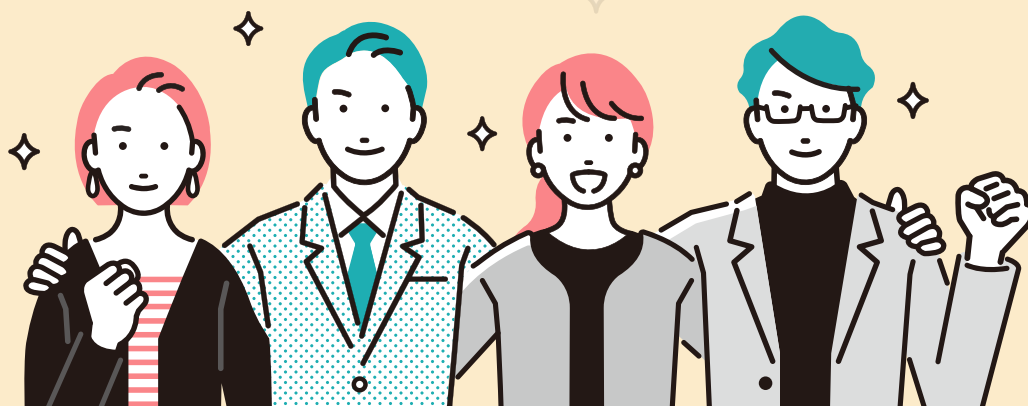
🔍 下関市立大学 特別支援教育特別専攻科 ✕

特別専攻科
入試日程・募集要項
はこちら



下関市立大学特別支援教育特別専攻科は、 このような方にオススメです！

- ・特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）を取得したい。
- ・二種免許状を一種免許状に上進したい。
- ・特別支援学校や特別支援学級に配属されたので専門性を高めたい。
- ・児童・生徒理解や発達・適応支援等について理論や具体的対応を学びたい。
- ・これから求められる特別な教育的ニーズに対応できる力量を身につけたい。



受講生メッセージ

中学校教諭



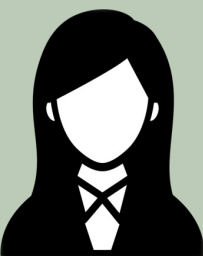
理論に裏付けられた生きた学び

私はこれまで中学校で勤務をしており、教育委員会が実施している法定認定講習で特別支援学校教諭二種免許状を取得しました。更に専門的に学びたいと思っているときに専攻科を知り、働きながら無理なく学ぶことに魅力を感じ入学しました。専攻科では、理論を学ぶだけでなく実際に生徒を想定しての対応策を考えたり授業作りをしたりするなどたくさんの学びがありました。また、先生方の手厚いご指導や同期の仲間と切磋琢磨し合えることで楽しく学ぶことができ1年間で特別支援学校教諭一種免許状を取得することができました。現在は、念願だった特別支援学校で勤務をしています。はじめての特別支援学校での勤務で戸惑うこともありますが、専攻科で学んだことで自信を持って勤務することができていると思います。専攻科は、特別支援学校教諭一種免許状の取得を考えている先生方にぜひおすすめです。

新たな視点を仲間とともに学ぶ喜び

今年度は、特別支援学級（知的学級）を担当し、専攻科で学んだ、「一人ひとりのニーズを把握し、個別最適な学び」を実践しているところです。専攻科では、指導の土台となる理論から、実践例を基にした具体的な指導まで楽しい講義ばかりでした。とにかくおもしろかったです。一緒に講義を受ける仲間たちとの意見交流も、新たな発見や違う視点の考えを知る良い機会でした。これからも子どもたちが最適な学びができるように、学び続けようと思っています。

小学校教諭



教育の変化に対応できる最先端の学び

高校で働きながら長期履修制度を利用して学んでいます。①仕事のペースに合わせて学ぶこと。②同じ志を持った仲間と共に学ぶこと。③教育の変化に対応できる最先端の知識を学ぶこと。全てが自分にとっては最良の環境でした。10年以上前に二種免許状を取得していましたが、専攻科での学びにより、時代の流れとともに、様々な変化に対応する力を身につける必要性を強く感じました。一種免許状取得をめざして、新しく学び直しが出来る機会を得ることができ、大変有り難く思っています。

高等学校教諭

